

科目名		授業形態	担当教員名	
医学英語		講義	大池 あと美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
リハビリテーション英語の基礎的事項を学習しながら、医学英語の必須語彙・語句を習得し医学英語のルーツ、背景、関連知識を理解する。学生は英文を音読し英訳する。講師は語句、文法など説明を加える。最後に小テストをする。				
授業の到達目標				
リハビリテーションのための基本的な医学関連英語を理解し必須語彙を習得する。臨床現場における医学英語を理解できる。医学英語に興味、関心をもち学習を継続する。				
授業計画				
回	内容			
1	P.12～14 Chapter I What is Rehabilitation? リハビリテーションの語の由来、歴史と定義を理解する。			
2	P.15 Exercises P.16 Physical Therapy and Physical Therapist: PTの活動、活動範囲、専門領域を理解する。 P.20 Exercises P.22,23 Chapter II Plane and Direction: 図を見て解剖学的基準である人体の基礎知識を学び識別する。			
3	P.24 Exercises, P.25～29 The Range of Motion: 基本用語を覚え関節可動域における運動例の名称と内容を理解、識別する。			
4	P.30～33: 身体の可動域、体位、立位、主要関節と部位の名称を理解し識別する。P.34 Exercises P.36,37 Chapter III The Skeletal System: 人体の骨格の構成、仕組を理解する。骨格の種類、名称、構成数を認識する。			
5	P.38 Human Skeleton: 人体図を見て各骨の名称、位置を認識、識別する。P.39 Vertebral column: 脊柱の構成を理解し名称と位置を類別する。P.40 Bones: 骨の構成における組織の層を理解し外形を分類する。P.41 Exercises			
6	P.42,43 Joints: 膝関節図を見て各名称と位置を認識する。関節の六つの種類名称を図から類別対比する。P.44 Exercises P.45 The Muscular System: 筋肉の名称、構成、役割を理解する。			
7	P.46 人体図を見て筋肉の名称を識別する。P.47,48 筋肉の三つの種類と特徴を理解する。P.49 手足の骨、筋肉、靭帯及び腱の名称を識別する。P.50 頸部の筋肉名称を認識する。			
8	P.50 頸部の筋肉名称を認識する。P.51 Exercises P.62 Chapter IV Bone Fractures: 骨折の原因、症状、種類を理解する。P.63,64 Classification of Fractures: 骨折の分類を認識、識別する。			
9	P.65 骨折の治療名、療法を認識する。P.66 Therapeutic Exercises for Femoral Neck Fracture: 大腿骨頸部骨折の運動療法の名称、指示内容を理解する。P.67 Exercises P.68 Chronic Low Back Pain: 慢性腰痛の理由、特徴、原因を理解する。			
10	P.69,70 Common Treatments for Chronic Low Back Pain: 腰痛の一般的治疗名、療法を認識する。P.70,71 関連知識を理解する。P.72,73 Therapeutic Exercises for Low Back Pain: 腰痛の運動療法の名称と方法を認識する。P.74 Exercises			
11	P.83,84 Sports Injury: アキレス腱断裂の発生と状況及び治療と療法を理解する。P.86,87 Sprained Ankle: 足関節捻挫の特徴を理解する。			
12	P.87 Sprained Ankle: 足関節捻挫の靭帯損傷の程度を認識する。捻挫の程度に合った治療法を理解する。P.89～P.91 Therapeutic Exercises for Sports Injury: 運動療法の名称と方法を理解する。			
13	P.92 Common sports injuries: 一般的なスポーツ傷害の名称を識別する。P.93 Exercises P.94 Spinal Cord Injury 脊髄損傷の定義、症状を認識する。			
14	P.95 脊髄損傷の症状による二つの要素を認識する。P.96 脊椎の位置別損傷による障害を認識する。P.97 運動療法の名称と方法を理解する。P.98 Exercises, P.104 脳卒中の発生など。			
15	P.104,105 Stroke: 脳卒中の発生、原因、症状、種類を理解する。P.106 Common Treatment and Medication: 脳卒中の治療法と薬物療法を理解する。			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	総合理解力を評価。		
レポート				
小テスト	20%	予習の成果、授業内容理解。		
平常点	10%	授業態度、予習復習の成果。		
その他				
自由記載	予習プリントは毎回使用。指示があれば提出。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
リハビリテーションの基礎英語	清水雅子		メジカルビュー社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
*配布されたVocabulary note、予習プリントを活用し学習する。*Exercises の練習問題の解答は前もって指名された学生が授業前に板書すること。*読めない単語を辞書で確認すること。*小テストは授業終了10～15分前に行い採点し回収する。*返却した用紙はファイルなどで保管する。				